

広島大学教育開発国際協力研究センター (CICE)  
平成 23 年度活動報告

**1. 調査研究活動**

**(1) 科学研究費による調査研究の実施**

- 「生徒の生活満足度（幸福感）に関する国際比較教育調査 - 先進国・途上国の事例から -」  
（平成 22～23 年度 研究活動スタート支援 研究代表者：櫻井里穂）
- 「スラムの小学校修了児童の中等教育進学機会について～ケニア・キベラからの事例～」  
（平成 22～23 年度 研究活動スタート支援 研究代表者：大場麻代）
- 「能力開発の観点から見た留学成果の測定に関する研究」（平成 23 年～25 年 挑戦的萌芽研究 研究代表者：黒田則博）

**(2) 学術交流の推進**

現在締結している協定は以下の通り。

- ・マラウイ大学教育研究研修センター（部局間協定）（平成 18 年度）
- ・ケニア・ケニヤッタ大学（大学間協定）（平成 18 年度）
- ・ガーナ・ケープコースト大学（大学間協定）（平成 20 年度）（平成 14 年度に同大学教育研究所と締結した部局間協定の格上げ更新）
- ・ウガンダ・マケレレ大学教育学部（平成 20 年度）
- ・インド・国立教育計画行政大学（部局間協定）（平成 22 年度）（平成 16 年度に旧国立教育計画行政研究所と締結した交流協定の延長）

**(3) 基礎教育開発のためのアフリカ・アジア大学間対話プロジェクト**

本事業（A-A プロジェクト）は、2004～2007 年まで、ユネスコ、JICA、国連大学との協力により実施してきた「基礎教育開発のためのアフリカ・アジア大学間対話」事業の第 2 フェーズにあたるもので、引き続きこれらの機関との協力の下、また、新たに文部科学省からの予算を得て、28 大学（アフリカ 16 大学、アジア 12 大学）が参加して、2009 年（平成 21 年度）から実施しているものである。

事業内容は、第 1 フェーズでの共同研究に加え、研究者交流、学生交流事業も新たに実施している。研究についても、従来各大学それぞれに研究テーマを決めていたが、第 2 フェーズでは、3 つのテーマ（“Equity and Gender”，“Quality and Educational Policy”，“Teacher Professional Development”）のうちから一つを選び、それに沿った調査研究を行っている。

また、このフェーズでは、参加大学により公式の（機関間の）ネットワークを形成することとし、ネットワークの規約を定め、それに正式に署名した大学のみがネットワークのメンバーとなれることとした。さらに、このネットワークは、国連大学・ユネスコの UNITWIN 事業の一つとして承認されている。

また、学内組織としては、広島大学全体として取り組むため、大学院教育学研究科、大学院保健学研究科、大学院医歯薬総合研究科、大学院国際協力研究科および、教育開発国際協力研究センターの代表者からなる、「教育開発のためのアフリカ・アジア大学間教育研究ネットワークの構築と展開」（予算要求上の名称）推進会議が 21 年度に設置され、同会議により承認された事業計画に基づき、活動を行っている。

本年度については、次の活動を行なった。

- ① ネットワーク第3回総会の開催：平成23年6月に広島大学において、第3回A-A総会を開催し、28参加大学の代表により、前年度の振り返り・年度計画・今後の展望について議論がなされた。開会式においては、広島大学副学長、文部科学省、ユネスコ、JICAの代表者により挨拶がなされた。
- ② ネットワーク・ホームページ運営：ネットワーク活動を広く紹介する目的で、引き続きホームページの更新を随時行っている。サイトは、  
<http://aadcice.hiroshima-u.ac.jp/index-j.php>
- ③ ネットワーク・紹介パンフレットの活用：前年度に作成したパンフレットを更新し、国内外におけるセミナー時に配布し、広報に努めた。
- ④ 平成23年度JICA集団研修の受入れ：「アフリカ地域研究を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力開発」と題した本研修事業において、アフリカ6カ国9名の教育研究者・行政官に加え、当センターからもアフリカとアジアの4カ国5名の研究者を招聘し、合計14名を研修に受け入れた。研修では、インドネシア、広島及び東京において、講義、関連施設（文部科学省、県・市施設、大学、中学校等）の訪問等のプログラムを実施した。
- ⑤ 学生交流活動：ケニヤッタ大学(ケニア)との国際学生会議の機会を設け、広大学生・院生11名からなる代表団を組織し、12月上旬ケニアへ派遣、14名のケニヤッタ大学代表団との国際学生会議を開催した。
- ⑥ 学会発表：第55回比較国際教育学会がカナダ（モントリオール）で開催され、A-A参加加盟大学代表がA-Aの研究活動に関する発表を行った。討論者は、ニューヨーク市立大学のベナボット教授（平成23年12月よりCICE客員教授として来日）。
- ⑦ 招待発表：ユネスコ国際教育計画研究所（IIEP）主催の「教育におけるジェンダーの平等性」フォーラムから招聘を受けて、ネットワークで実施している研究テーマの一つであるケニアにおける「教育におけるジェンダーと公正性」についての発表を行った。ユネスコ事務局長の挨拶で始まった当フォーラムは、アフリカ数カ国から文部大臣が、そしてユニセフ、世界銀行等の教育関連の国連機関をはじめ、教育開発分野での著名な研究者・実務者が招待されていた。AAの活動が国際的に認知され、かつ、さらに広く研究活動を知ってもらう良い機会となった。
- ⑧ シンポジウム開催：講演者2名を招待し、教育開発協力国際シンポジウムが広島大学で開催された。ネットワーク参加加盟大学研究者、広島大学教職員・学生、一般人を含めおよそ70名の参加があった。
- ⑨ 第2フェーズの最終年度にあたり、3月26～29日、マレーシア科学大学においてネットワーク参加大学の代表により、成果報告、評価および今後の活動について協議。

## 2. 戦略・政策提言

### (1) 文部科学省、外務省、JICA等への協力

- ・外務省独立行政法人評価委員会委員（平成23年度から）
- ・外務省 Global Partnership for Education に係る日本の活動についての助言（平成20年度から）
- ・外務省国際教育協力協議会委員（平成20年度から）
- ・JICA「シリア国基礎教育セクタープログラム形成調査」(平成22年度から)
- ・JICA研究所「東アジアの地域統合、労働市場と人的資本形成」調査（平成22年度から）

### 3. 知見の集積・発信

(1) 第9回国際教育協力日本フォーラム (JEF IX) – 自立的教育開発に向けた国際協力 – 文部科学省、外務省、筑波大学との共催により実施 (平成24年2月7日、東京・文部科学省講堂) した。今年度のテーマは、「援助の有効性と国際教育協力の責務」。

(2) 「国際教育協力論集」の発行

国際教育協力分野では我が国で唯一の学術研究誌「国際教育協力論集」を発刊している。本年度は、第14巻第1号 (和文)、第2号 (英文、予定) を刊行した。

(3) CICE セミナー

第135回：平成23年4月21日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：Information and Communication Technology in Secondary Schools of Uganda: Examining the Trends and Hurdles

講師：Dr. Ndawula Stephen (CICE 客員教授、Kyambogo University, Uganda)

第136回：平成23年5月12日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：ICT Supported Distance Teacher Education: Challenges and Prospects for In-service Student Teachers in Uganda

講師：Dr. Ndawula Stephen (CICE 客員教授、Kyambogo University, Uganda)

第137回：平成23年6月16日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：Access and Use of the Internet: A case of Undergraduate Students in Public Universities of Uganda

講師：Dr. Ndawula Stephen (CICE 客員教授、Kyambogo University, Uganda)

第138回：平成23年6月23日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：Struggles for Educational (e-) Quality in Sub-Saharan Africa: Empirical, Theoretical and Methodological Dimensions

講師：Dr. Ndawula Stephen (CICE 客員教授、Kyambogo University, Uganda)

第139回：平成23年7月7日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：Electronic Learning Media at Higher Education in Uganda: The Impact of Gender, Media Ownership and Field of Study

講師：Dr. Ndawula Stephen (CICE 客員教授、Kyambogo University, Uganda)

第140回：平成23年7月21日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：A Study of End-Users' Attitudes towards Digital Media Approach at a Tertiary Level: The Experience of Uganda

講師：Dr. Ndawula Stephen (CICE 客員教授、Kyambogo University, Uganda)

第141回：平成23年10月13日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：Educational Policy and Practices for Universalizing Primary Education in Ethiopia: Dilemmas and Consequences

講師：Dr. Dawit Mekonnen Mihiretie (CICE 客員教授、Bahir Dar University, Ethiopia)

第 142 回：平成 23 年 10 月 20 日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）  
題目：Primary School Teachers' and Parents' Views on the Practices of Automatic /  
Social Promotion and its Implication for Quality Education: A Case Study from  
Ethiopian Primary Schools  
講師：Dr. Dawit Mekonnen Mihiretie (CICE 客員教授、Bahir Dar University, Ethiopia)

第 143 回：平成 23 年 10 月 27 日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）  
題目：The Impact of Pre-Service Teacher Training in Changing Student Teachers'  
Conceptualization of Teaching: Cases from Germany and Ethiopia  
講師：Dr. Dawit Mekonnen Mihiretie (CICE 客員教授、Bahir Dar University, Ethiopia)

第 144 回：平成 23 年 11 月 10 日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）  
題目：Addressing Multiple Identities (Ethnic Identity and National Identity) in Post  
1991 Ethiopian Social Studies Textbooks and Students' Views towards Them  
講師：Dr. Dawit Mekonnen Mihiretie (CICE 客員教授、Bahir Dar University, Ethiopia)

第 145 回：平成 24 年 1 月 12 日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）  
題目：Learning to Read and Numerate in the Developing World: A Comparative Study of  
Reading and Mathematics Curricula and Textbooks in Upper Primary Education  
講師：Prof. Aaron Benavot (CICE 客員教授、University at Albany, USA )

第 146 回：平成 24 年 2 月 2 日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）  
題目：Strengthening the Comparative Dimension in Comparative Education  
講師：Prof. Aaron Benavot (CICE 客員教授、University at Albany, USA )

第 147 回：平成 24 年 2 月 23 日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）  
題目：Neo-Institutionalism in Education: An Emergent Paradigm and its Critics  
講師：Prof. Aaron Benavot (CICE 客員教授、University at Albany, USA )

第 148 回：平成 24 年 3 月 8 日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）  
題目：Adult Literacy in the 21<sup>st</sup> Century: Developing the Social Nexus of Local  
Communities  
講師：Prof. Aaron Benavot (CICE 客員教授、University at Albany, USA )

#### (4) その他セミナー等

##### オープンセミナー

CICE Open Seminar 1：平成 23 年 11 月 14 日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）  
題目：Capacity Development for Research-based Policy Formulation towards Quality  
Improvement in Education for Sub-Saharan Africa  
発表者：JICA 研修「アフリカ地域研究を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力  
開発」研修員

CICE Open Seminar 2 : 平成 23 年 11 月 16 日 (会場 : 広島大学 CICE 国際研修室)  
題目 : Capacity Development for Research-based Policy Formulation towards Quality Improvement in Education for Sub-Saharan Africa  
発表者 : 「基礎教育開発のためのアフリカ・アジア大学間対話プロジェクト」 招聘者

CICE Open Seminar 3 : 平成 23 年 12 月 1 日 (会場 : 広島大学 CICE 国際研修室)  
題目 : Capacity Development for Research-based Policy Formulation towards Quality Improvement in Education for Sub-Saharan Africa  
発表者 : JICA 研修「アフリカ地域研究を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力開発」 研修員

特別セミナー "Improving Education Quality through School Grants: Experiences from Malawi"  
平成 24 年 2 月 6 日 13:25 - 14:55  
場所 : 東京キャンパス・イノベーションセンター (田町)  
講演者 : Prof. Dorothy Nampota (Ph.D)  
Director, Center for Education Research and Training, University of Malawi

特別セミナー "International Education Policy after 2015: Past Trends, Future Scenarios"  
平成 24 年 2 月 6 日 15:05 - 16:35  
場所 : 東京キャンパス・イノベーションセンター (田町)  
講演者 : Prof. Aaron Benavot (Ph.D)  
Visiting Professor, Center for the Study of International Cooperation in Education (CICE), Hiroshima University  
Professor, Department of Educational Administration & Policy Studies, University at Albany-State University of New York

#### (6) ホームページの維持管理

・CICE のホームページをリニューアル。「国際教育協力論集」の全巻 PDF ファイルにて掲載。

### **4. モデル事業実施支援等**

#### ○平成 23 年度 JICA 集団研修の受入れ

「アフリカ地域研究を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力開発」と題した本研修事業において、アフリカ 6 ヶ国 9 名の教育研究者・行政官に加え、当センターからもアフリカとアジアの 4 ヶ国 5 名の研究者を招聘し、合計 14 名をアフリカとアジアから受け入れた。研修では、インドネシア、広島及び東京において、講義、関連施設（文部省、県・市施設、大学、中学校等）の訪問等のプログラムを実施した。

## 5. その他

### (1) 外国人客員研究員の招聘

次の3名を客員教授として招聘した。

Dr.Ndawula Stephen	Kyambogo University, Uganda	Apr. 1, 2011	— Jul. 31, 2011
Dr.Dawit Mekonnen Mihiretie	Bahir Dar University, Ethiopia	Aug. 1, 2011	— Nov. 30, 2011
Dr.Aaron Benavot	University at Albany-State University of New York	Dec.12.2011	— Mar. 30, 2012

### (2) 外国人専門家等の招聘

- ・教育開発のためのアフリカ・アジア大学間対話事業の第3回年次総会開催に伴い、アフリカから31名、アジアから8名、欧米諸国から2名を招聘した。
- ・平成23年度 JICA 研修「アフリカ地域研究を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力開発」実施に伴い、アフリカから3名、アジアから2名、米国から1名を招聘した。

### (3) インターンシップの実施

実質的には、平成13年度から行ってきたが、15年度から実施要項を定め正式な制度として実施することとした。平成23年度は7人のインターン（学部生3名、大学院生4名）を受け入れ、特定のプロジェクトの実施やCICEが実施する研修、国際会議等の活動の補助などを行った。また新たに、A-A Dialogue 事業のもとに、ケニヤッタ大学（ケニア）との国際学生会議の機会を設け、広大学生・院生11名からなる代表団を組織し、ケニアへ派遣、14名のケニヤッタ大学代表団との国際学生会議を開催した。

### (4) 大学院教育への協力

平成16年度より、大学院国際協力研究科において授業科目「国際教育協力実践論」をCICE教員全員で担当していたが、平成20年度より、新たに「国際教育協力論」（吉田教授）、およびゼミとして「教育開発国際協力論演習」（吉田教授、櫻井准教授、日下部准教授）を担当し、本格的に学生指導を始めた。なお、黒田教授は平成7年の同研究科設立時から、「国際教育交流論」および「高等教育交流論」を担当している。平成22年度より、櫻井准教授は「基礎教育開発論」を担当しており、平成23年度より日下部准教授は「途上国の比較教育学」を担当している。

### (5) 経営協議会委員による外部評価

平成23年9月13日、標記委員2名により、広島大学の4特別研究センター（当センターを含む）について、合計約2時間にわたり、書面とアリングによる評価がおこなわれ、当センターについては、A-A ダイアログイ事業を中心とする活動の有効性について内外に示すべきである等のコメントがなされた。これについては、自己評価を実施しているなど当方の対応について、書面で回答した。

（平成24年3月作成）